

2026 年度第 1 回一宮市立図書館協議会会議録（要旨）

- 1 開催日時 2026 年 9 月 30 日（水）午前 10 時～11 時 12 分
- 2 開催場所 中央図書館 6 階 多目的室 1
- 3 出席者 委員 9 名、事務局 8 名
- 4 傍聴者 なし
- 5 議 題
 - （1）2026（令和 8）年度当初予算について
 - （2）2025（令和 7）年度の活動状況について
 - （3）その他
- 6 開 会 （事務局が開会を宣言）
活力創造部次長挨拶
図書館協議会会長挨拶
- 7 会 議（要旨）

（事務局） 議題（1）について資料に基づき説明。

（事務局） 議題（2）について『図書館年報』に基づき説明。

（委 員） 『図書館年報』11 ページの資料別受入・除籍点数のところですが、下から 2 つ目の除籍の欄で今回、子文の郷土資料が 20 点除籍という数字が上がっている。郷土資料を除籍する理由を教えてください。

（事務局） 手元に資料を持ち合わせておらず分からないため、確認して回答します。

（委 員） 29 ページの（15）レシートスポンサー状況で、一昨年は 4 館ともレシートスポンサーがあったと思いますが、昨年度は中央と尾西だけに減っているのは何か理由があるか。

（事務局） 令和 6 年度の本曽川と子文は、月別で見ると 4 月から 9 月までは本曽川は申し込みがあったが、10 月以降は継続の申し込みがなかった。子文・地文も 4 月のみで、それ以降の継続の申し込みがなかったので、令和 6 年度は全館で、一時期レシートスポンサーが埋まったときもありましたが、令和 7 年度については、本曽川、子文・地文については申し込みがありませんでした。

（委 員） 30 ページから逐次刊行物の目録があるが、先ほど中央の雑誌コーナーを見てきたら、休刊がかなり多くなっている感じで、今この表に上がっているのでも、休刊とか受け入れ中止といった網掛けの部分が非常に多くて目に付く。あれだけ棚ががらんとしていると、何か寂しいような気がするので、予算の兼ね合いもあると思いますが、また一度ご検討いただきたい。

（事務局） 雑誌は休刊になったものと似たようなものを探してもいい雑誌がなかったり、選んだものがまたすぐ休刊になったりして、かなり選ぶのが難しい。

（委 員） 各館の取り組みの中で、中央で活動しているレインボー i は、たぶん尾西で活動している、にじいろおはなし会と同じ団体だと思う。ホームページを見ると、非常に若い人達の集まりかと思うが、実際どういう団体なのか。

（事務局） 学生のメンバーが多いというのを聞いています。

（委 員） 一宮の図書館にゆかりのある学生か。

（事務局） 詳しくは分からないが、メンバー自体は 20 人近くいる。その中で実際におはなし会に来ているのは、2、3 人ぐらいで、中央と尾西でやっている。

- (委 員) そういう若い方がおはなし会に参加していただけるというのは非常にありがたいと思う。こちらから勧誘したわけではなく、向こうからの応募か。
- (事務局) はい。
- (委 員) 43 ページの一番下の影絵コスモスサークルというのも新しい団体か。
- (事務局) もともと子文の子どもフェスティバルに参加していた団体で、中央図書館の子ども読書の日記念行事でもやりたいというお話があり、昨年度から参加し、今年も参加している。よむりんのボランティアグループにも入っている。
- (事務局) 今年の子どもフェスティバルは11月7日、8日にあるが、メンバーの都合により今回の参加はなしです。
- (委 員) 先ほど予算のところで子文の空調の話があった。年表の中で令和7年4月に子文の1階と3階の空調機器の修繕工事というのがあるが、これとは別の話か。
- (事務局) 今年の7月に1階のエアコンが故障し、業者にもお願いしたが古くて部品がないとのことで直すことは難しく、スポットクーラーを4台急遽取り入れて、1階を冷やして利用していただいている。暖房に対しては10月に家庭用エアコンの臨時的なものを3台ほどつけて、一時的にしのぎます。本格的なエアコンの修理は来年度に予定しています。
- (委 員) 空調が壊れて大変だったと思うが、利用者の皆さんはどうしていたのか。
- (事務局) スポットクーラー、扇風機、サーキュレーターを利用して、何とか本を選んだり読んだりできるぐらいの気温に下げてください。
- (委 員) 2階、3階は大丈夫か
- (事務局) 2階、3階は大丈夫で1階だけです。
- (委 員) 1階はおはなしの部屋もあるので、やっぱり利用者から何か話はあったか。
- (事務局) おはなし会を開いたときに、たまたまかなり暑い日で、ボランティアさんからどうにかならないかというお話はいただいた。
- (委 員) 来年、予算が通って夏の前に本当は直るといいが、できるだけ早く修繕をして、利用者の方にもゆっくり利用してもらえようをお願いします。
- (委 員) 39 ページの社会見学の一環として、学校から図書館の見学を受入れるというところですが、昨年と比べ、非常に減っていると感じられる。減った理由を聞いているか。
- (事務局) 学校からの申し込みによりますので、図書館側でどうして減ったのかということまでは分からない。
- (会 長) 単なる子どもたちの減少でしょうか。クラス数も少しずつ減っている。リモートもありますよね。図書館を知ってもらうにはいい機会です。2年生の必須授業ですか。
- (委 員) 生活科の中の公共施設を利用するということで図書館に行くかどうかという判断をする。リモートで子供たちが画面上で見ていくということが、本当に学習の効果があるかということを教員は考えがちなもので、もしかしたらリモートと書かれているところは消えていく可能性がある。体験のよさを知っている教員であれば体験で連れて行きたいし、できれば本を借りる体験をしてみたいという、そういう意欲的な教員もいる。
- (会 長) 子どもたちにとっては体験が一番大事。そこら辺は先生方の意識改革というか頑張ってください。

- (委 員) 春の遠足を兼ねて、その中で、図書館を立ち寄り場所にしてというふうに計画する学校も多いが、今年に限っては春をやめている学校も結構ある。なぜかという、アジア大会があって、秋の遠足のバスの予約をとってはいけない期間があり、そうするとバスを5月にとって行くと、もう春の徒歩遠足はないので、やめますよとか。だから今年出てくるデータがもっとひどい可能性がある。
- (委 員) この見学は全部中央図書館に来た人たちか。
- (事務局) 39 ページは中央図書館です。各館ごとに載せているので、例えば尾西は49 ページの⑤のところに見学された学校が載っています。木曽川は51 ページ、子文は53 ページにそれぞれ載っています。
- (委 員) 先ほど46 ページに新しく NOBI プロジェクトというのをやったと説明があり、すごくいいなと思った。岐阜市と一宮市の子ども司書が交流したり、子ども司書講座を受けた子たちの OB 会みたいなものを作ったりというのは新しく始まったものであって、またこれからもずっと続くものなのか。それから、「夢の図書館を作ろう」というワークショップの結果、例えば何か模造紙にまとめたとか、何か展示をしたとかいうのを私は全然知らなくて、それはどんなふうに見ればよかったのかというのを、質問したい。
- (事務局) このプロジェクト自体は3年目で、1年目のときは、子ども司書講座の中でおすすめ本のポップを作るということを一宮の子ども司書も岐阜の子ども司書もやっていて、お互いのポップを交換して展示するということをやりました。2年目は、先ほど報告したように岐阜の子ども司書がこちらに来て、図書館見学とワークショップをするというイベントをやりました。今年度もまだこれからですが、ポップの交換展示をやる予定にしています。昨年度やったワークショップ「夢の図書館を作ろう」につきましては、5階のフロアで展示をしました。
- (委 員) こういうものは、図書館のホームページで見られるのか。
- (事務局) 見学の様子やワークショップの様子は、去年の11月に図書館ウェブサイトに乗せていて、それぞれグループで発表をした内容や、当時の展示の様子も見るができます。
- (委 員) 私もこの交流のことで、大人以上に子どもがわくわくするような図書館づくりをしていかないと、今後なかなか子どもたちが図書館に足を運んでくれることが少なくなってしまうのではと思っているので、お互いの図書館のいいところを紹介し合うとか、いろんな図書館に子どもに足を運んでもらって意見を聞かせてもらうというのはとてもいいことだと思います。
- (委 員) 3 ページからの図書館の平面図のところで、各図書館の書き方がまちまちなので、書き方を統一するといいのかなという気がしました。
- (事務局) 平面図の方は検討させていただきます。
- (委 員) 54 ページの子ども文化広場図書館の児童文化教室の関連で、今まではプログラミングをやっていて、昨年からのドローンをはじめたということで、やっぱりドローンというのは人気があるか。それから中止が6つあったようだが、この中止というのはやはり募集をかけたけど、応募がなかったからやむを得ず中止になったのか。今年は実施されたのか。
- (事務局) 中止に関しては募集をかけたが定員に満たなかったため実施をしなかったと

というのがほとんどである。教室の見直しは、各担当の先生方が協議をして見直していく方向で考えている。中止が続くようならば見直して新しい講座を開講するということで、取り組んでいる。

(委 員) 昨年からドローンが入ってきて、今風だから人気がおそらくあるかなと思うが、その前にやっていたプログラミングもまあまあ人気があった教室かと思う。まるっとプログラミングがなくなって、ドローンに変わったので、プログラミングも一部残してもよかったのでは。

(事務局) ドローンの前はプログラミングだったが、おそらく講師の都合もあるかと思います。ドローンに関しては市内のドローンをやってみえる民間の業者さんにお問い合わせをして、講師としてやっていただいているというふうに聞いております。

(委 員) ドローンの操作をやって、実際に飛ばすのか。

(事務局) 屋外ではなく室内で、こういった小さな会議室で飛ばしています。

(委 員) 私も興味があって、ドローンだから外だと思ったが、室内なんですね。実際に会議室で小さいのを飛ばして、そこに映像とか何か見えるのか。

(事務局) ノートパソコンがあって、映像を見ます。屋外ではやってないです。

(委 員) 今ちょっと自分が問題意識にしているのが、子どもの不読率。愛知県のデータしか持っていないのですが、小学生で言うと今 16%で中学生 20 何%。高校生になると 40 何%まで跳ね上がる。もちろん理由は読む時間がないというところだが、それでも本嫌いな子というのは少なく、結構本好きの子の比率が高く、本が好きな子の理由としてはやっぱり幼いころの体験、本と出会ったイメージだとか、それから読み聞かせてもらった人との関わりとかがあって、本を自分で手に取るようになっていくというような、そういう過程が大事で、学校もやっぱりそういう方向が大事だよねと進めている。そこでブックスタートの取り組みってどんな感じのものなのかということを教えていただきたい。

(委 員) ブックスタートは主任児童委員と、ボランティアが一緒になって、昔は9か月だったんですけど、今は4か月児健診の時に、市からバックとともに絵本を1冊プレゼントして、本はこうやって読んでくださいという説明や読み聞かせをしたり、図書館の紹介をして、4か月のお子さんとその保護者に図書館のよさ、本を読むよさを伝えていく活動です。

(委 員) 県のデータでは、そのあと保護者の方が読み聞かせたりしてますよという関心の高さが80%を超えてくる。そのあと学校に入ってくるので、学校の方で頑張っていきたいと思います。どうもありがとうございました。

(会 長) 図書館とかいろんな施設で、子どもたちが本に興味を持つようにいろいろ環境を整えてもらっていますが、保育園や幼稚園、小学校、中学校、一番身近に本と触れる場所、図書館がちゃんとありますので、やっぱりそういうところもしっかり環境を整えて、子どもたちが行きやすい図書館、借りたい本、見たい絵本とか、そこら辺のことがきちんと整えられると、少しずつやっぱり良くなっていくと思う。

本当にいろんなボランティアの人とかグループの人達がいろんなことをやって、身近に人と人との関わりの中で本の楽しさを知らせてくださっていることをすごく感じて、一宮市の図書館の活動もそういう人たちに、すごく支えられているということを強く感じました。今後、そういう人たちを大切にして、

減らしていくんじゃないかって、先ほども自分たちからやりたいって言って声をかけて、1 つ増えたということもあるから、そういうのを大事にして、皆さんで盛り上げていくといいなということを、意見を聞いて感じました。

(事務局) 議題 (3) について各図書館から報告

(尾西図書館) LED 照明交換工事、開館 70 周年記念事業について

(木曽川図書館) LED 照明交換工事について

(子ども文化広場図書館) LED 照明交換工事、空調設備、ポンプの故障について

(事務局) 2026 年度の第 2 回の協議会につきましては、来年の 2 月頃を予定しておりますので、調整の上またご連絡差し上げたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

(会 長) ありがとうございます。それでは本日予定をしておりました議題は全て終了いたしました。議事進行を事務局へお返しいたします。

(事務局) それでは大変貴重な審議、ありがとうございました。以上をもちまして本日の図書館協議会を閉じさせていただきます。